



2013年度 主題 〈あふれる愛-小さきものとともに〉

10月主題 「伝えあう喜び」

3・4・5歳児月の願い

- ◎体を動かす遊びを楽しむ
- ◎季節の移り変わりに気づき、身近な自然とふれあって遊ぶ
- ◎自分の気持ちや考えを出して友だちと過ごす

今月の聖句 「主よ、お話しください。しもべはきいております。」 サムエル3:9



左の挿絵はサムエルという青年が神のことばを聞き、これに従い、長じて国の精神的指導者になったというイメージ画です。

今月は「ことば」の力について考え、こどもにより言葉かけをする家庭になるよう考えましょう。

「ことば」それは人間のみが使うコミュニケーション手段であり、人を育て、力を与えます。ことばは事の端(ことのは)といわれ、物事の本質をあらわすものです。こどもにとって、ことばは心の栄養であり、肉体の糧と同じように必要なものです。欠点のみをあげつらえば、こどもは自信のない、消極的で自分を否定的な人間になります。こどものよいところをほめ、はげますと、前向き積極的な人に育ちます。将来困難に遭遇しても幼い時に注がれたことばによって乗り越えることが出来ます。叱るよりほめることば、否定より肯定的なことば、後ろ向きより前向きなことば、失敗をとがめず、成功することを信じて待つてあげるようにしましょう。 前理事長 池田公榮

10月の行事予定

2 (水)	運動会予行練習
3 (木)	芋ほり体験
6 (日)	第56回運動会
7 (月)	振替休日
9 (水)	実りの秋パーティー
13 (日)	市民体育祭参加(年中長)
14 (月)	運動会予備日
16 (水)	遠足(あっぱ〜らんど)
26 (土)	ふれあい運動会
30 (水)	おすもう大会(年長・ひかりのこ)
31 (木)	おすもう大会(年中・年少)

11月の行事予定

1 (金)	交通安全教室(年長児)
7 (木)	給食試食会(たんぼぼ・すみれ)
8 (金)	給食試食会(こすもす・ひかりのこ)
16 (土)	入園説明会予定
27 (水)	クリスマス会予行

おけいこの合間に一息!

2学期に入り、子どもたちも大きな病気をすることなく元気に登園しています。運動会本番まで、いよいよ残り一週間となりました。

今年度は、「ねないこだれだ」の絵本を元に、毎日の基本的な生活習慣の大切さ、オバケのおもしろさをテーマに取り組んでいます。練習を進める中で、年中・長児が今取り組んでいることは、「給食完食」「体操をカッコよく!」「あいさつ」の3つです。その日できたら、ごほうびシールをもらって『おばけマスターになろう!』と盛り上がっています。普段当たり前のことも意識してみると、改めて気づくことも多く、このように取り組んでいるからこそ、病気やケガもなく「今度は〇〇してみたい!」と意欲に満ちた毎日を過ごせているのではと感じています。

しかし、もう一つのテーマは「おばけ」。子どもたちも初めは敬遠しがちでしたが、先生たちの巧みな話術と技術で(?)体育館をオバケ屋敷化したり、おもしろおかしくすることで、苦手意識もだいぶ薄れてきたような気がします。たぶん...

本番はたくさんの方のいろいろな種類のおばけたちに出会うことでしょう。また今年も子どもたちのキラキラしたかわいい姿、一つ成長した姿を、どうぞお楽しみにしててくださいね!そして、お父さんお母さんも楽しんでいただけたら...と思います。 主任



身も心もはずむ秋



10月の献立

1 火	牛乳、ワカメご飯、ごま和え、冬瓜の煮物、梨
3 木	牛乳、白ご飯、魚のアングレース、せんきゃべつ、豚汁、オレンジ
4 金	牛乳、ひじきご飯、キュウリの浅漬け、すまし汁、ヨーグルト
7 月	～運動会振替休日～
8 火	牛乳、白ご飯、ふりかけ、から揚げ、春雨の酢の物、みそ汁、ナシ
10 木	牛乳、青菜ご飯、キャベツとちくわのみそサラダ、豆腐と豚肉の加煮、バナナ
11 金	牛乳、白ご飯、味付けのり、ひじきのコロッケ、きつねうどん、ヨーグルト
15 火	牛乳、白ご飯、コロッケ、せんきゃべつ、みそ汁、オレンジ
17 木	牛乳、白ご飯、ふりかけ、塩サバ、大根サラダ、ポパイスープ、カキ
18 金	牛乳、カレーライス、野菜サラダ、ヨーグルト
21 月	牛乳、食パン、トンカツ、せんきゃべつ、五目汁、バナナ
22 火	牛乳、芋ご飯、ナムル、さつま汁、りんご
24 木	牛乳、白ご飯、ふりかけ、酢の物、大豆の五目煮、オレンジ
25 金	牛乳、白ご飯、魚の甘酢煮、ブロッコリーのおかか和え、カヌー、ヨーグルト
28 月	牛乳、食パン、キャベツとブロッコリーのレモン醤油、クリームパティ、りんご
29 火	牛乳、白ご飯、大根のごま和え、かき揚げ、みそ汁、バナナ
31 木	牛乳、そばろご飯、ジャガ 仔と人参の炒め煮、豆腐と青菜のスープ、リンゴ

都合によりメニューが変わる場合があります。ご了承ください。

予報によると、今年の秋は短く冬の到来が早いとのこと、寒い冬になるとか。朝夕の爽やかな風、高い空に浮かぶ雲、木の葉のこすれる音など、秋の訪れを身近に感じるこの頃です。

子どもの頃、野原や水辺で、そこにある草や花や小さな生き物、貝殻や泥や水など自然にあるものを相手に、夢中になって過ごした経験は本当に楽しいものでした。今でも、そのことがいかに自由で、わくわくして、キラキラ輝いていたかをすぐに思い起こせることなのでしょう。自然の恵みや神秘さなどの不思議さばらしいものに対する喜びと驚きの感性が、人の心と知性を成長・成熟させていくのに、どれほど大切かは言うまでもありません。生き生きとして新鮮な子ども感性(センス・オブ・ワンダー)は、「感じる」心や経験を通して、教育の重要な要素「知る」ことよりもはるかに大切で、幼児期はこの情緒や感受性を育む時なのだと思いをもちたいと思います。

さて、消費税増税が前提で実施予定(平成二七年度)の「子ども・子育て支援新制度」その具体的な議論の場である国の「子ども・子育て会議」が活発に進められています。西之表市も地方版「子ども・子育て会議」がいよいよ始まり、私も委員として参加します。幼児教育・保育の制度が大きく変わる今、地域に根ざした様々な機能を提供できるよう進化していかなければと思っています。まずは来年度から実施する2園での認定こども園。持てる環境・人材を通して、すべての子どもたちに豊かな育ちを支援できるように準備・説明を整えていければと願っております。

さわやかで過ごしやすい季節を迎えます。子どもたちもつとも活発な活動を展開する実りの時期です。ゆつくりと周りの自然を観察しながら落ち着いた時間を満喫したいと思います。運動会や芋掘り、そして遠足など屋外での活動を通して、思いきり体を動かし心動かし、心はずむ時となることでしょうか。一人ひとりの健康状態に気を付けながら、天からの恵みに感謝しつつ過ごしたいと思っております。

園長